

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ベルタウン長岡馬場店新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府長岡京市馬場箇所22-1、23、	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 0.0	評価の実施日	2015年10月27日
敷地面積	5,737 m ²	作成者	大村昌聡
建築面積	3,442 m ²	確認日	
延床面積	6,742 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質			Q のスコア = 3.2		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Q1のスコア= 3.1	Q2のスコア= 3.1	Q3のスコア= 3.3	LR1のスコア= 4.4	LR2のスコア= 2.9	LR3のスコア= 3.3
音環境 3.8, 温熱環境 3.0, 光・視環境 3.0, 空気質環境 3.0	機能性 2.9, 耐用性 3.1, 対応性 3.4	生物環境 2.0, まちなみ 5.0, 地域性・ 2.5	建物外皮の 5.0, 自然エネ 3.0, 設備システ 5.0, 効率的 3.0	水資源 3.4, 非再生材料の 2.7, 汚染物質 3.0	地球温暖化 4.4, 地域環境 3.0, 周辺環境 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
物販店舗としての機能を向上させるだけでなく、地域のシンボルである西山の眺めや周囲の景観へ配慮した計画を行った。 また建築外皮性能向上や高効率設備機器の導入による省エネルギー性向上を図る。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能を向上させる事で、室内の音環境向上を図る	売場では十分な天井高を確保することで、建物使用者の快適性向上を図る。また外装材や配管材料に補修間隔の長いものを選定する事で、建物の耐用性を向上させる。	可能な限り緑地を計画し、敷地内環境向上を企図する。地域のシンボル西山の眺めや周囲の景観に配慮した計画とする。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮の熱的性能を向上させる事で、外部からの熱的影響を抑える。また高効率機器の採用。LED照明の採用により、建物全体でエネルギー消費量削減に取り組む。	節水器具採用による水資源保護を計画する。また建築躯体と仕上材の別が容易な手法を取り入れる事で、部材の再利用可能性向上を図る。	LR1の省エネルギー設計を通じ、地球温暖化抑制に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される